



『働く若者の国内旅行実態調査』

旅行実施率・年間実施回数を分けるのは、男性⇒「恋人の有無」、女性⇒「月4万円のお小遣い」

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)の旅行カンパニーに設置されたじゃらんリサーチセンター(センター長: 沢登次彦)では、この度、全国の20~24歳の独身有職者を対象に、『働く若者の国内旅行実態調査』を実施しました(※国内旅行とは、出張・帰省を除く宿泊を伴う国内旅行)。主な調査結果は以下の通りです。

<TOPICS>

【国内旅行実施率・年間実施回数※】(※国内旅行実施者の年間平均実施回数)

～働く若者の高い旅行実施率～

最近1年間の旅行実施率78.5%:実施回数2.4回

⇒男女別では[旅行実施率:男性平均75.8%、女性平均81.3%][年間実施回数:男性平均2.2回、女性平均2.6回]
と、旅行実施率・年間実施回数ともに、やや女性が上回る。……………P3

【国内旅行実施率・年間実施回数※を分ける要因分析】(※国内旅行実施者の年間平均実施回数)

～男性は「恋人の有無」で、旅行実施率、年間実施回数に差～

○恋人あり 84.4%(年3.0回)、恋人なし 68.8%(年1.6回) 実施率差15.6ポイント、回数差1.4回

～女性は「月4万円のお小遣い」が分かれ目。「恋人の有無」に関係なく旅をする～

○可処分所得4万円以上87.7%(2.9回)、未満76.8%(2.3回) 実施率差10.9ポイント、回数差0.6回
女性は、「恋人の有無」では、旅行実施率の差は小さい……………P4

【最近1年間の国内旅行同行者】

～「友人と」、「恋人と」に次いで4割弱が「家族と」旅行。「会社の同僚と」を上回る～

⇒20~24歳(男女計):「友人と」50.2%、「恋人と」41.4%、「家族と」38.1%、「ひとりで」24.7%、「会社の同僚と」15.8%

○男性の3割強が「ひとりで」、「家族と」旅行実施。「会社の同僚と」の旅行実施率を上回る。

○女性の1位は「友人と」。2位は「家族と」で、「恋人と」の旅行実施率を上回る。

【同行者別・主な交通手段】(直近の旅行)

～主流は電車旅。カップル旅行は、約半数がマイカー(乗用車)で。ひとり旅は、7割弱が電車で～

……………P5~6

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

■ 調査目的

- 20代前半(20~24歳)の消費意欲が減退していると言われていた中で、国内旅行の実態と、旅行促進となる要因を探り、旅行市場活性化のための基礎材料を得る。

■ 調査方法

- インターネット調査
 - 株式会社コンピューター・プランニング・リサーチのモニター(CiM-Netモニター)を利用

■ 調査対象

- 全国の20~24歳の独身有職者(パート・アルバイト、フリーランス、自営業を除く)の男女1,000件。
回収数=813件(回収率=81.3%)。集計対象数=800件。(25~34歳についてもサンプル調査実施。詳細右表)
- 独身有職者のサンプルを取得するために、モニターのうち、20~34歳を対象に予備調査を実施し、年齢層別、性別に割付を行った。(右表参照)

■ 調査期間

- 2008年9月19日(金)~9月24日(水)

	予備調査 発信数	予備調査 回収数	本調査 発信数	本調査 回収数	集計 対象数
合計	11000	5295	1600	1236	1200

	予備調査 発信数	予備調査 回収数	本調査 発信数	本調査 回収数	集計 対象数
20~24歳	4,000	1,551	1,000	813	800
男性	2,000	573	500	406	400
女性	2,000	978	500	407	400
25~29歳	4,000	2,079	300	211	200
男性	2,000	1,188	150	105	100
女性	2,000	891	150	106	100
30~34歳	3,000	1,665	300	212	200
男性	1,500	717	150	107	100
女性	1,500	948	150	105	100

(人) (人) (人) (人) (人)

■ 基本プロフィール

■ 就業形態 (全体/単一回答)

n=	n	正社員・ 正職員 (フルタイム勤務)	正社員・ 正職員 (フルタイム以外)	契約社員・ 嘱託	派遣社員
		20~24歳(男女計)	800	87.0	0.6
男性・計	400	91.5	0.5	5.0	3.0
女性・計	400	82.5	0.8	9.0	7.8

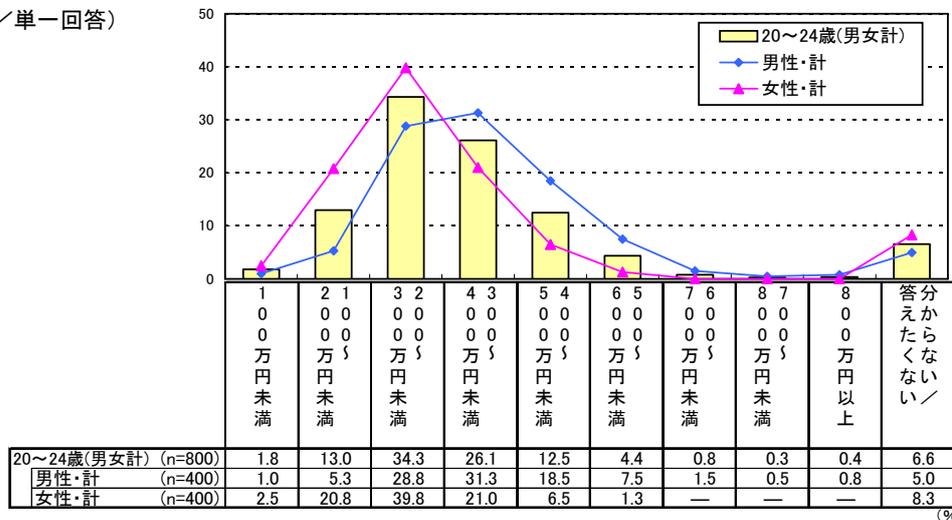
(%)

■ 恋人の有無(全体/単一回答)

n=	n	恋人がいる	恋人がいない
		20~24歳(男女計)	800
男性・計	400	44.8	55.3
女性・計	400	51.0	49.0

(%)

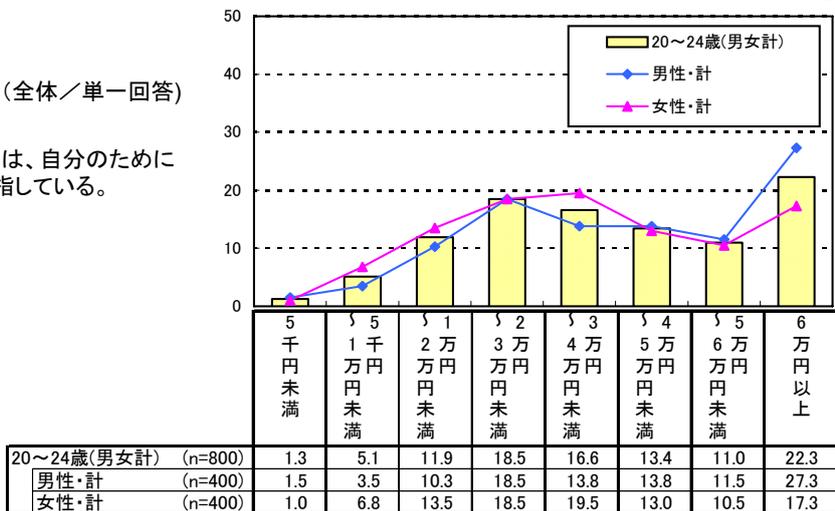
■ 年収 (全体/単一回答)



(%)

■ 1ヵ月あたり可処分所得 (全体/単一回答)

※ここでいう可処分所得とは、自分のために使える金額(お小遣い)を指している。



(%)

TOPIC① 働く若者の国内旅行実態①

《1年間の旅行実施率・年間実施回数》

～働く若者の高い国内旅行実施率～

20～24歳の独身有職者の「最近1年間の宿泊を伴う国内旅行(出張・帰省を除く) 実施率・年間実施回数」は、

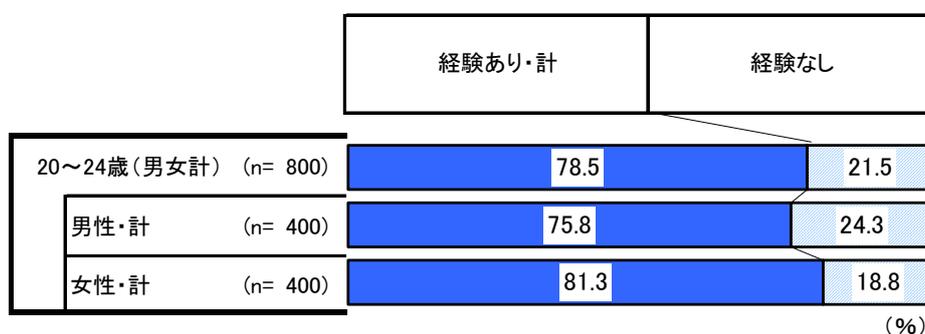
旅行実施率 = 78.5% 年間実施回数 (国内旅行実施者の平均) = 2.4回

男女別に見ると、

[旅行実施率: 男性平均75.8%、女性平均81.3%] [年間実施回数: 男性平均2.2回、女性平均2.6回]

と、旅行実施率・年間実施回数ともに、やや女性が上回る結果となった。

■最近1年間の旅行実施率 (全体 / 単一回答)



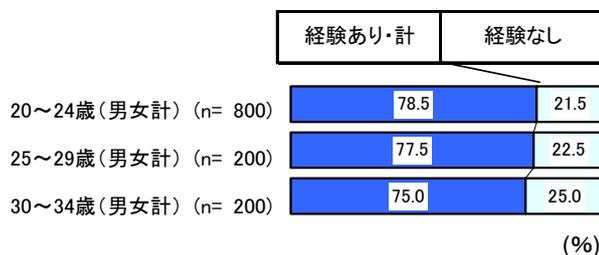
■最近1年間の旅行実施回数 (全体 / 単一回答)

	経験なし	経験あり				実施回数 (経験あり と答えた人 の平均)
		0回	1回	2回	3回	
20～24歳(男女計) (n= 800)	21.5	20.3	21.9	15.6	20.8	2.4
男性・計 (n= 400)	24.3	22.5	20.3	13.8	19.3	2.2
女性・計 (n= 400)	18.8	18.0	23.5	17.5	22.3	2.6

(%) (回)

□参考データ 「25～29歳(男女計)」「30～34歳(男女計)」 サンプルデータ比較

最近1年間の旅行実施率 (全体 / 単一回答)



TOPIC② 働く若者の国内旅行実態②

《1年間の旅行実施率・実施回数を分ける要因》

～男性は「恋人の有無」、女性は「可処分所得（お小遣い額）」で大きな差～

旅行実施率・年間実施回数※を分ける要因を分析した結果、「恋人の有無」、次いで「可処分所得4万円以上・未満」で、大きく差異が出ることが分かった。（※年間実施回数...国内旅行実施者の年間平均実施回数）

さらに、男女別に見てみると、男性は「恋人なし」に比べて「恋人あり」の方が、旅行実施率・年間実施回数共に大きく、一方、女性は「恋人の有無」での差は男性に比べると小さい。

旅行実施率は、「可処分所得4万円以上・未満」で大きく差が見られた。

（※就業形態別は「契約・派遣社員・計」のサンプル数が100を切っており、男女別に分けると誤差が大きいと考えられるため、男女別のクロス集計からは省くこととした）

＜男性＞ ○恋人あり 84.4%(年間実施回数3.0回)、 恋人なし 68.8%(年間実施回数1.6回)

(男性「恋人あり」との比較:実施率差15.6ポイント、回数差1.4回)

＜女性＞○可処分所得4万円以上 87.7%(年間実施回数2.9回)、 4万円未満 76.8%(年間実施回数2.3回)

(女性「可処分所得4万円以上」との比較:実施率差10.9ポイント、回数差0.6回)

■旅行実施率・年間実施回数 条件別分析

□最近1年間の旅行経験(全体/単一回答)

20～24歳(男女計)		n=	経験あり・計	経験率の差	実施回数	回数の差
		800	78.5		2.4	
【就業形態】	正社員・計	701	80.0	12.3	2.5	0.7
	契約・派遣社員・計	99	67.7		1.8	
【恋人の有無別】	恋人あり	383	84.3	11.2	2.9	0.9
	恋人なし	417	73.1		2.0	
【休暇取得の状況】	休みが不定期・計	224	79.9	1.9	2.7	0.4
	休みが不定期ではない・計	576	78.0		2.3	
【連続休暇の取りにくさ別】	あてはまる・計	349	77.4	2.0	2.3	0.2
	あてはまらない・計	451	79.4		2.5	
【可処分所得別】	4万円未満	427	75.4	6.6	2.2	0.5
	4万円以上	373	82.0		2.7	

※可処分所得は、1か月に自分のために使える金額(お小遣い)を指している。

※「正社員」・計は、「フルタイム勤務」、「フルタイム以外」の合計割合、「休暇取得の状況」、「連続休暇の取りにくさ別」に関しては、「とてもよくあてはまる」「ある程度あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階で答えてもらい、「あてはまる」の合計と「あてはまらない」の合計で比較。

■旅行実施率・年間実施回数 男女別要因分析

＜男性＞

20～24歳(男性)	n=	経験あり・計	経験率の差	実施回数	回数の差
	400	75.8		2.2	
恋人あり	179	84.4	15.6	3.0	1.4
恋人なし	221	68.8		1.6	
休みが不定期・計	124	77.4	2.4	2.2	0.1
休みが不定期ではない・計	276	75.0		2.3	
連続休暇が取りにくい・計	177	73.4	4.2	2.0	0.4
連続休暇が取りにくくはない・計	223	77.6		2.4	
可処分所得4万円未満	190	73.7	3.9	2.0	0.5
可処分所得4万円以上	210	77.6		2.5	

＜女性＞

20～24歳(女性)	n=	経験あり・計	経験率の差	実施回数	回数の差
	400	81.3		2.6	
恋人あり	204	84.3	6.2	2.8	0.5
恋人なし	196	78.1		2.3	
休みが不定期・計	100	83.0	2.3	3.2	0.8
休みが不定期ではない・計	300	80.7		2.4	
連続休暇が取りにくい・計	172	81.4	0.3	2.6	0.0
連続休暇が取りにくくはない・計	228	81.1		2.6	
可処分所得4万円未満	237	76.8	10.9	2.3	0.6
可処分所得4万円以上	163	87.7		2.9	

※可処分所得は、1か月に自分のために使える金額(お小遣い)を指している。
 ※「休みが不定期」、「連続休暇の取りにくさ」に関しては、「とてもよくあてはまる」「ある程度あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階で答えてもらい、「あてはまる」の合計と「あてはまらない」の合計で比較。

TOPIC③ 働く若者の国内旅行実態③

《最近1年間の旅行同行者》

～「友人と」「恋人と」に次いで、4割弱が「家族と」旅行を実施。

4人に1人が「ひとりで」旅行。「会社の同僚と」の旅行実施率を上回る～

最近1年間に実施した旅行の同行者（最近1年間に旅行した人／複数回答）は、「友人と」が1位。次いで「恋人と」、「家族と」、「ひとりで」と続く。

男女別では、

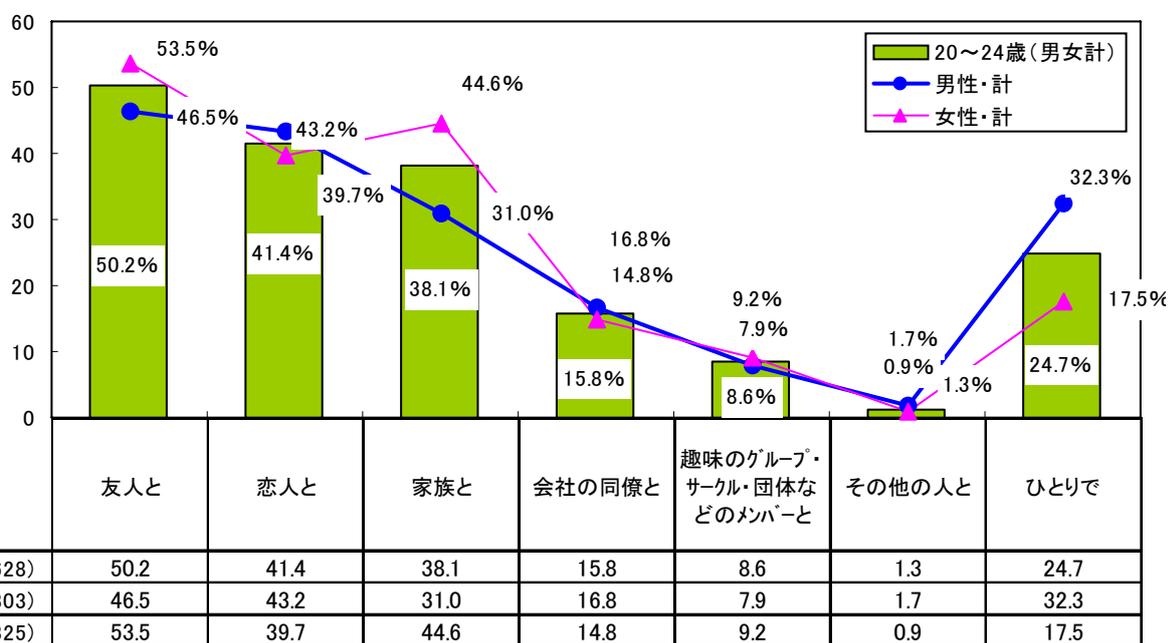
＜男性＞ 3割強が「ひとりで」、「家族と」旅行を実施。「会社の同僚と」の旅行実施率を上回る。

⇒男性は「会社の同僚と」(16.8%)より、「ひとりで」(32.3%)、「家族と」(31.0%)の旅行実施率が高い結果となった。

＜女性＞ 1位は「友人と」。2位は「家族と」で、「恋人と」の旅行実施率を上回る。

⇒女性は「友人と」(53.5%)が最も高い。「恋人と」(39.7%)より、「家族と」(44.6%)の旅行実施率が高い結果となった。

◎最近1年間に実施した旅行の同行者（最近1年間に旅行した人／複数回答）



(%)

TOPIC④ 働く若者の国内旅行実態④

《直近の旅行の同行者別：主な交通手段》

～主流は電車旅。カップル旅行は約半数がマイカー(乗用車)。

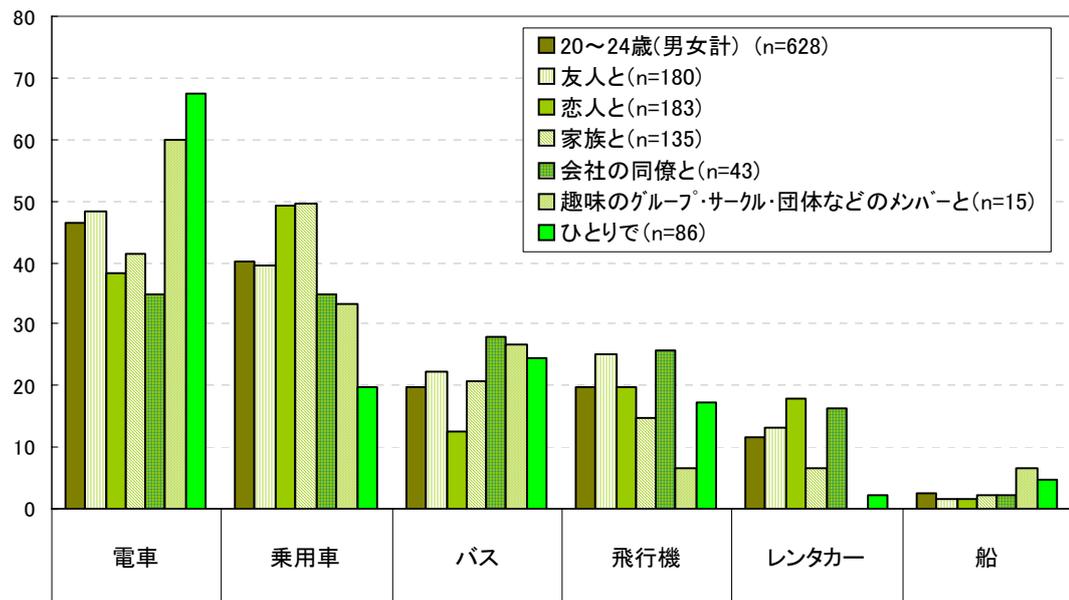
ひとり旅は、7割弱が電車の旅～

直近に実施した旅行に絞り、「主な交通手段」についてたずねたところ、20～24歳(男女計)では、「電車」の旅が1位で、次いで「乗用車」、「バス」、「飛行機」と続く。

また、直近の旅行の同行者別に見てみると、以下のようになった。

- 「恋人と」：乗用車49.2%、電車 38.3%、飛行機19.7%
- 「友人と」：電車 48.3%、乗用車39.4%、飛行機25.0%
- 「ひとりで」：電車 67.4%、バス 24.4%、乗用車19.8%

◎直近に実施した旅行 同行者別 主な交通手段 (最近1年間に旅行した人/複数回答)



同行者別	電車	乗用車	バス	飛行機	レンタカー	船
20～24歳(男女計) (n=628)	46.3	40.3	19.9	19.7	11.6	2.4
友人と (n=180)	48.3	39.4	22.2	25.0	13.3	1.7
恋人と (n=183)	38.3	49.2	12.6	19.7	18.0	1.6
家族と (n=135)	41.5	49.6	20.7	14.8	6.7	2.2
会社の同僚と (n=43)	34.9	34.9	27.9	25.6	16.3	2.3
趣味のグループ・サークル・団体などのメンバーと (n=15)	60.0	33.3	26.7	6.7	—	6.7
ひとりで (n=86)	67.4	19.8	24.4	17.4	2.3	4.7

＜参考データ＞ 働く若者の国内旅行実態調査 国内旅行意向①

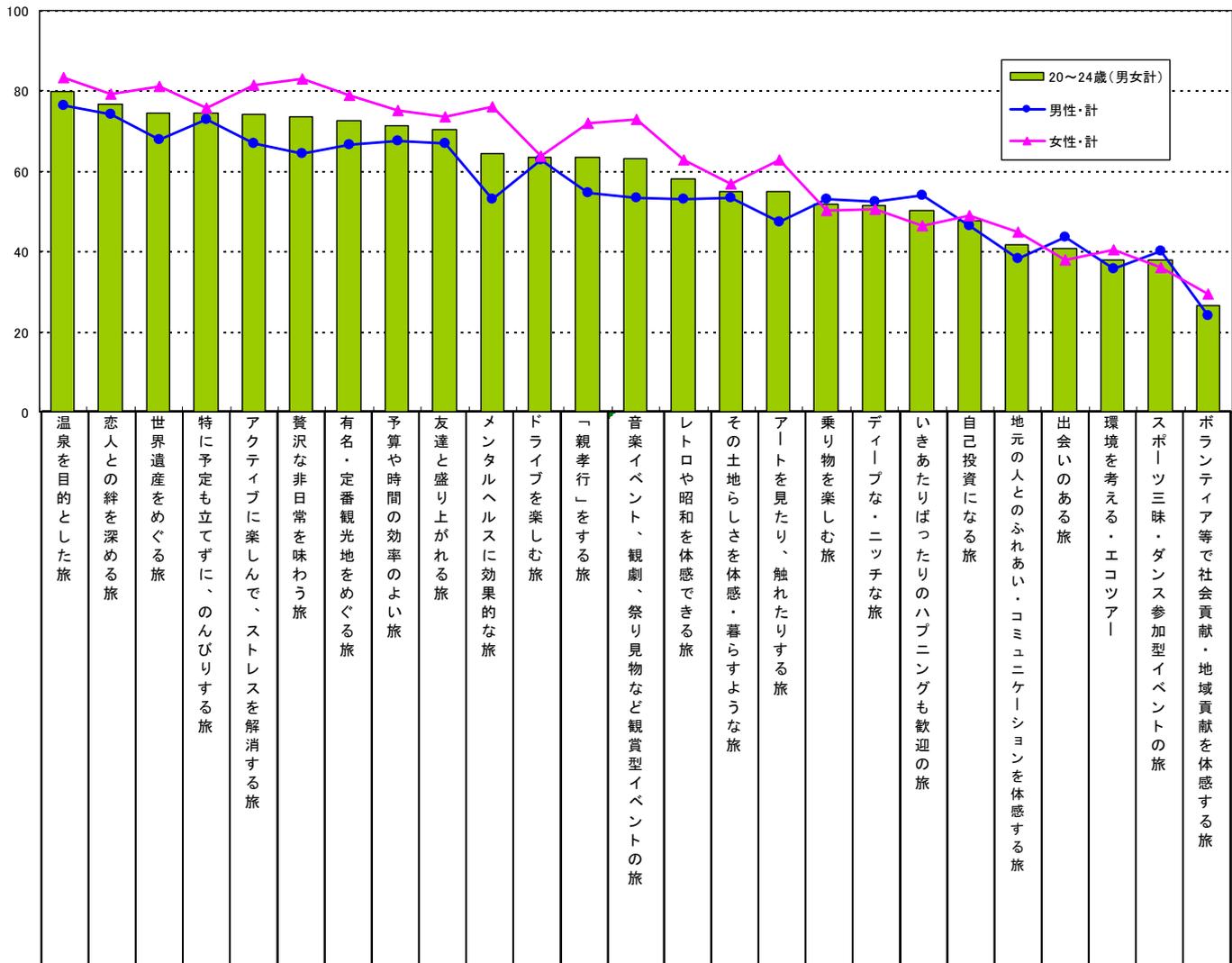
※参考データとして、20～24歳の独身有職者の「国内旅行意向」を表す以下のデータについて紹介する。

- ◎旅行コンセプトへの興味度
- ◎同行者別・行きたい旅行スタイル
- ◎国内旅行に行きたくなるシーン

◎旅行コンセプトへの興味度（全体／複数回答）

旅行コンセプトに対する「興味がある・計」の上位は、

- ①「温泉を目的とした旅」79.8%、②「恋人との絆を深める旅」76.6%、③「世界遺産をめぐる旅」74.4%



※各コンセプトについて、具体例を挙げ、興味の有無をたずねた。

例：「有名・定番観光地をめぐる旅」(有名観光地に行く／昔、家族と行った観光地をめぐる、など)

※興味の有無は、「とても興味がある」「まあ興味がある」「どちらともいえない」「あまり興味がない」「全く興味がない」の5段階で、そのうち、「とても興味がある」「興味がある」の合計の割合を示した。

《参考データ》 働く若者の国内旅行実態調査 国内旅行意向②

◎「希望の同行者」別：行きたい旅行スタイル（各同行者と国内旅行に行きたいと回答した人／複数回答）

希望の同行者別に、希望する旅行スタイルを調べた。

希望の同行者別 旅行スタイルのランキング上位は、

＝恋人と＝

①「遠いエリアに行く旅」79.5% ②「行ったことのない旅先への旅」68.3% ③「飛行機で行く旅」63.5%

＝友人と＝

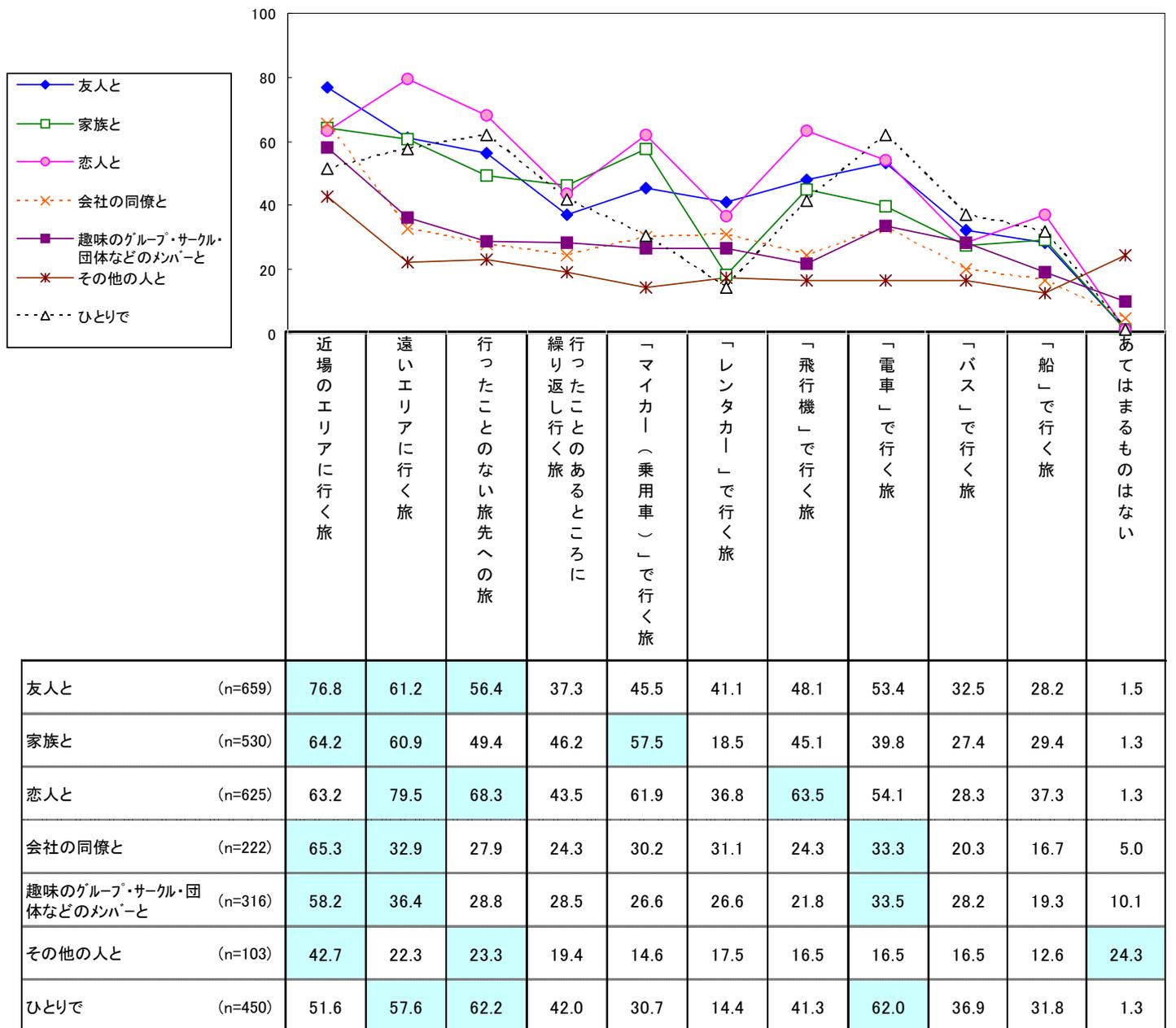
①「近場のエリアに行く旅」76.8% ②「遠いエリアに行く旅」61.2% ③「行ったことのない旅先への旅」56.4%

＝家族と＝

①「近場のエリアに行く旅」64.2% ②「遠いエリアに行く旅」60.9% ③「マイカー（乗用車）で行く旅」57.5%

＝ひとりで＝

①「行ったことのない旅先への旅」62.2% ②「電車で行く旅」62.0% ③「遠いエリアに行く旅」57.6%



※上位3位

(%)

＜参考データ＞ 働く若者の国内旅行実態調査 国内旅行意向③

◎「一緒に過ごす人」別：余暇の過ごし方（全体／複数回答）

「恋人との絆を深めたい時」「気心の知れた仲間と一緒に何かをしたい時」「ひとりの時間を楽しみたい時」のそれぞれのシーンで、何をしたいか質問をした。その中で、「1泊以上の国内旅行」、「日帰り旅行」の意向がどの程度見られるかを確認した。

「一緒に過ごす人」別：余暇の過ごし方の意向に対する上位項目は以下となった。

＝恋人との絆を深めたい時＝

①「1泊以上の国内旅行」73.4% ②「贅沢・高級な外食」64.5% ③「日帰り旅行」57.6%

＝気心の知れた仲間と一緒に何かをしたい時＝

①「お酒を飲みに行く」73.9% ②「カラオケ」64.0% ③「1泊以上の国内旅行」61.9%

＝ひとりの時間を楽しみたい時＝

①「音楽鑑賞」82.6% ②「ゆっくりと休む・まったりと過ごす」82.0% ③「テレビを見る」75.1%

